

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

障害者支援施設 青谷学園

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境			0.40			2.7
1 音環境		3.3	0.15	3.2	1.00	3.3
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1 2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.8	0.40	3.6	0.40	
1 1 開口部遮音性能	複層ガラスの採用	5.0	0.40	5.0	0.30	
1 2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
1 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
1 2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
1 3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
1 4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
1 5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
1 6 個別制御		-	-	-	-	
1 7 時間空調に対する配慮		-	-	-	-	
1 8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.8	0.25	3.3	1.00	2.8
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60	
1 2 方位別開口		-	-	3.0	-	
1 3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	4.0	0.30	
1 1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
1 2 昼光制御	窓上に庇を設置	4.0	1.00	4.0	1.00	
1 3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		1.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.5	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 1 化学汚染物質	仕上材は全てF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
1 2 アスベスト対策		-	-	-	-	
1 3 タニコカビ等		-	-	-	-	
1 4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38	
1 1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
1 2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
1 3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
1 4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
1 2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.3	0.40	4.6	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 1 広さ・収納性		3.0	-	5.0	1.00	
1 2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
1 3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	4.0	0.40	
1 1 広さ感・景観	天井高さ2.8m以上かつ十分な開口部により屋外情報を得られる	4.0	-	5.0	0.50	
1 2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
1 3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 1 維持管理に配慮した設計	極力同一床仕上材を採用し、WC(一部)を湿式での清掃対応可	4.0	0.50	-	-	
1 2 維持管理用機能の確保	防汚性の高い外装材等を採用	4.0	0.50	-	-	
1 3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
1 2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
1 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
1 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
1 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
1 5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
1 6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.4	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	発電機を設置する。浸水箇所に機器を設けない。	3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備	光回線・メタル回線の引込を行う。浸水箇所に機器を設けない。	3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.6	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり				3.0	0.31	4.2	0.50	
	1	階高のゆとり		3.0	0.60	5.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.2	0.38	-	-	-
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
	3	電気配線の更新性	ケーブルラックを敷設し、ケーブル更新性を向上させた。	5.0	0.11	-	-	-
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
	6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			近隣へ配慮し、北側壁面を曲面とした。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.5	0.20	-	-	3.5
	2.1 自然エネルギーの直接利用		光庭の設置	4.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				3.6	0.30	-	-	3.6
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=11.5%	3.0				
	集合住宅の評価			3.0				
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.63	-	-	2.9
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22	-	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
	1	消火剤	不活性剤ガス消化剤の使用	4.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LED照明の採用につき、基本的に照度は低め。広告物照明無し。	4.0	0.70	-	-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	